

# アジア農科系大学連合理事会においてe-Learningを用いた農学カリキュラム開発プロジェクトを提案

プロジェクト開発研究領域 佐々木太郎、リタ・P・ラウデ

2003年12月4日、名古屋大学においてアジア農科系大学連合（the Asian Association of Agricultural Colleges and Universities (AAACU)）の理事会が開催されました。ICCAEは大学院生命農学研究科と共に、①農学カリキュラムの開発、②e-Learningシステムの確立という2つのプロジェクトを理事会に提案し、承認を受けました。

農学高等教育は、グローバル化の進展の中で国際的な水準を視野に入れつつ、教育活動の質的向上が求められています。また、開発途上国においても、従来の農業教育に加えてバイオテクノロジーなどの先端技術の教育が内外より強く求められる傾向にあります。e-Learningに代表される情報通信技術の活用は、農業高等教育においても教育の質的向上、教育機会の増加に加え、地域特性の強い農業を疑似体験するために必要不可欠な教育手段となりつつあります。

e-Learningのコースツールの1つであるWebCTは、①全てのサービスが1台のサーバで行われるために管理コストを大幅に削減することが可能なこと、②「コ

ンソーシアム」「大学」「学部」「コース」「セクション」という5つの段階にカスタマイズすることができること、③1つのサーバを大学ごとに個別化できること、④テンプレートを活用することで容易に教材を作成できること、などの機能を兼ね備えています。つまり、e-Learningの採用によって、農学分野での高等教育においても教材の効率的な共有を実現することが可能となるわけです。

このような背景から、ICCAEと大学院生命農学研究科はAAACUと協力し、農学教育のためのe-Learningネットワークを構築し、各大学における農学教育に必要な講義を相互に提供しあうコンソーシアム型農学教育モデルの構築と運用に関する研究を開始しました。AAACU事務局は、12月27日、全ての会員機関に対して大学院のカリキュラム内容に関する調査票を送付しプロジェクトへの協力を求めました。この調査によって農科系大学の基本的なカリキュラムの情報を入手・分析することが可能となり、①大学院教育におけるAAACU共通のe-Learning教材を選定すること、②大学間の連携によりカリキュラムの相互補完を可能とすること、などが具体的成果として期待されています。

なお、アジア農科系大学連合の第15回大会が、「アジア農科系大学連合における遠隔教育のためのe-Learningシステムの開発」をテーマとして、2004年9月27日から30日の4日間、本学のシンポジオンホールを会場として開催されます。上記プロジェクトの具体的成果もそこで報告される予定です。



アジア農科系大学連合理事会のメンバー